

講演1

# 平成24年における 事業用自動車の事故について

平成25年2月26日（火）

中部運輸局自動車技術安全部長  
尾崎 正俊

## 目次

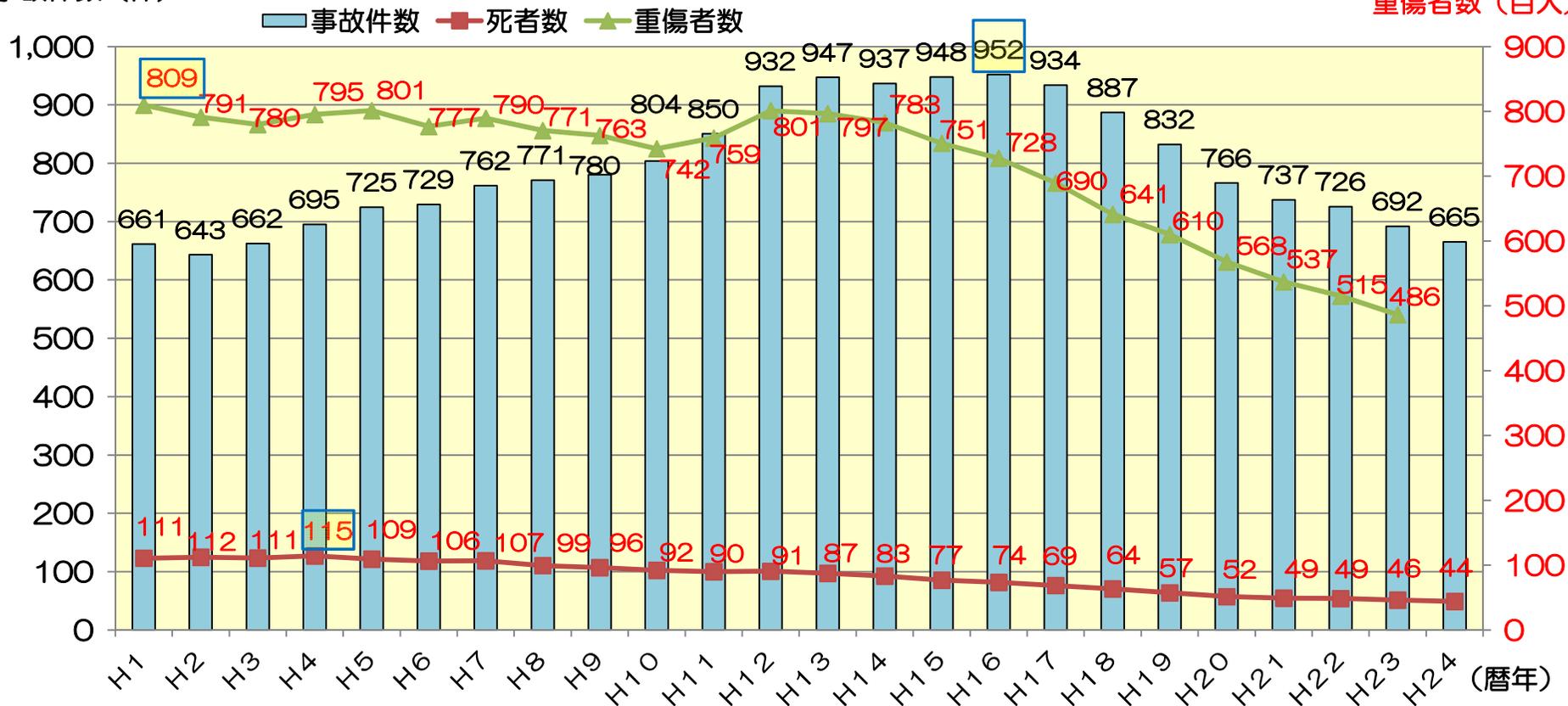
1. 全国の交通事故発生状況について
2. 中部管内の事業用自動車の事故報告状況について
3. 中部管内における特徴的な事故について
4. 安全対策  
～平成25年度 事故防止対策支援推進事業～

# 全国の交通事故発生状況（推移）

○全国の交通事故発生状況及び死者・重傷者数推移

事故件数（件）

死者（百人）  
重傷者数（百人）

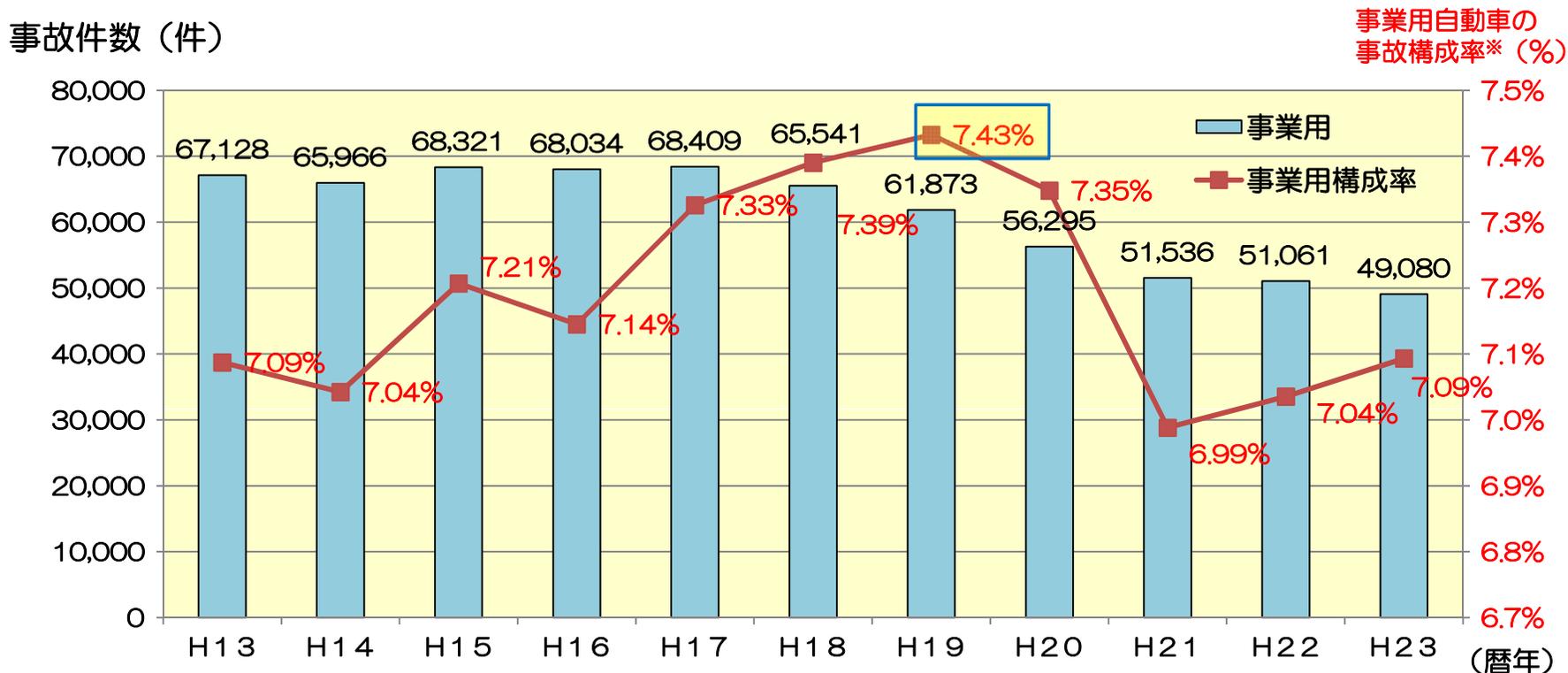


出典：警察庁統計資料

全国の交通事故発生状況は、発生件数は平成16年をピークに減少傾向。

# 全国の交通事故発生状況（事業用自動車）

## ○全国の事業用自動車の交通事故発生状況



平成21年「事業用自動車総合安全プラン2009」が策定

※事業用自動車の事故構成率：  
 $\frac{\text{全国の事業用自動車第1当事者となった事故件数}}{\text{全国の全交通事故件数}}$

出典：警察庁統計資料

事業用自動車が引き起こす事故の件数は、平成17年以降減少傾向にあるものの、一般の事故と比べると減少率が低い。

# 事業用自動車の事故削減目標

## 事業用自動車総合安全プラン2009

### 事業用自動車の安全目標

#### 【目標】

- 10年間で死者数半減  
全国：平成20年513人を10年後に250人  
中部：平成20年 70人を10年後に 35人
- 10年間で人身事故件数半減  
全国：平成20年5.6万件を10年後に3万件  
中部：平成20年5,567件を10年後に2,784件
- 飲酒運転ゼロ

## 第9次交通安全基本計画

### 政府全体の行動計画・目標

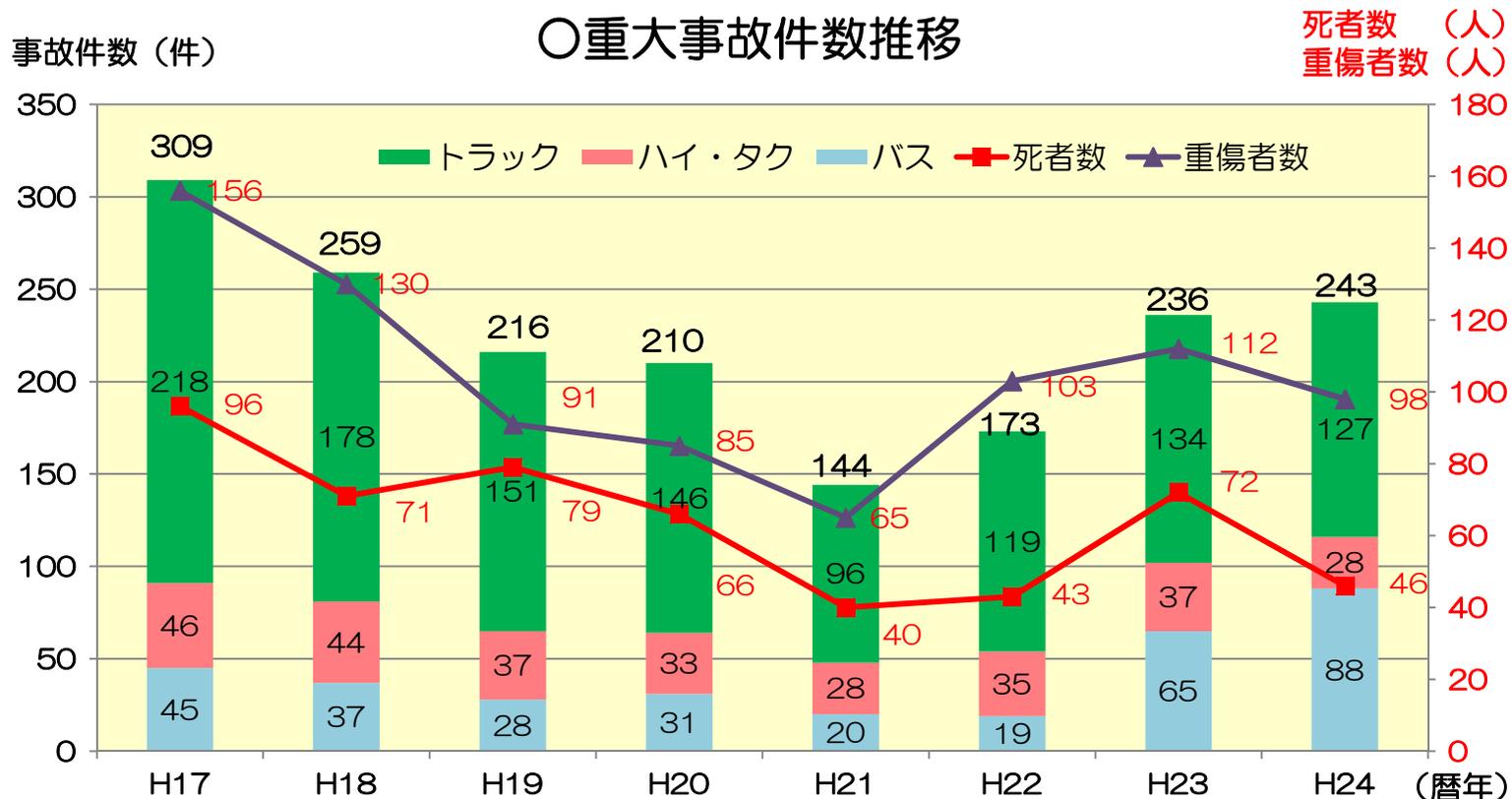
#### 【目標】

- 目標：交通事故全体
- 24時間死者数を  
3,000人以下
- 死傷者数を  
70万人以下

#### 【期間】

平成23年度～27年度（5か年）

# 中部の重大事故※1発生状況（乗務員に起因する事故※2）

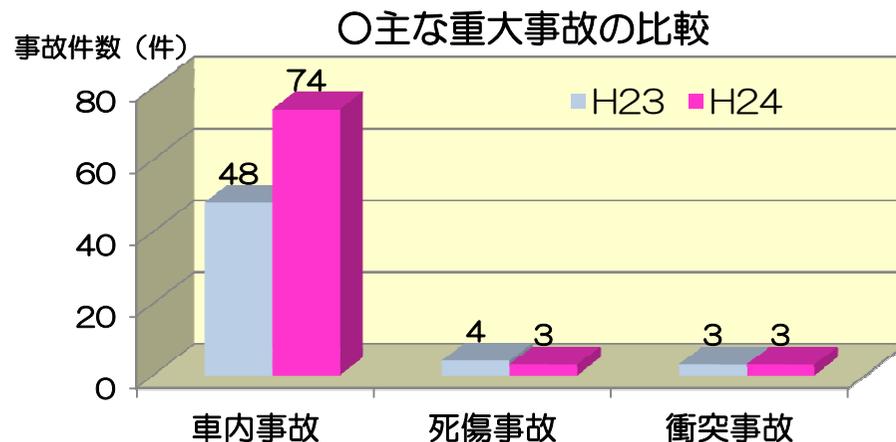
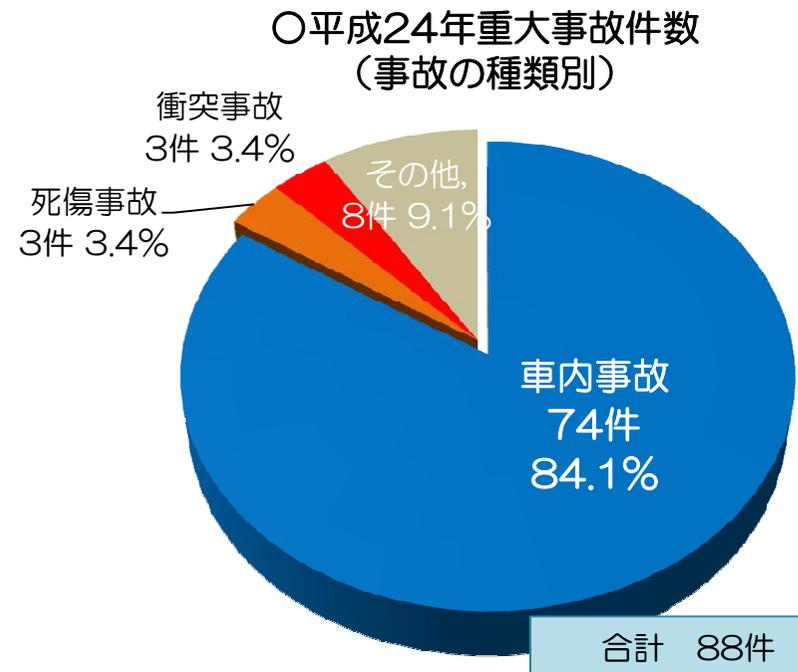
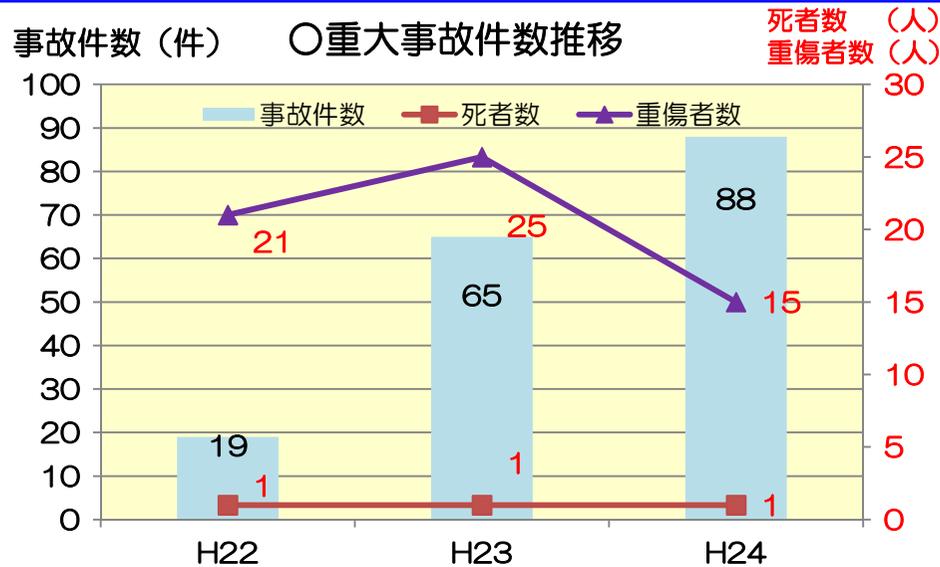


※1 重大事故とは・・・ 出典：自動車事故報告書  
 自動車事故報告規則で定められる、「衝突事故」、「死傷事故」、「車内事故」、「飲酒運転を伴う事故」等の重大な事故。  
 「衝突事故」：自転車、バイク等と衝突し、死者・重傷者が発生した事故  
 「死傷事故」：歩行者・自転車等と衝突し、死者・重傷者を生じた事故  
 「車内事故」：乗客に全治11日以上を負傷者を生じた事故  
 「飲酒運転を伴う事故」：酒気帯び状態で、人身事故、物損事故を引き起こしたもの

※2 乗務員に起因する事故とは・・・  
 事故の状況から、事業用自動車の運転者に主たる責任があると考えられる事故。

- ・平成21年以降は増加傾向。
- ・平成24年は、前年に比べてバスは増加、ハイ・タク、トラックは減少。

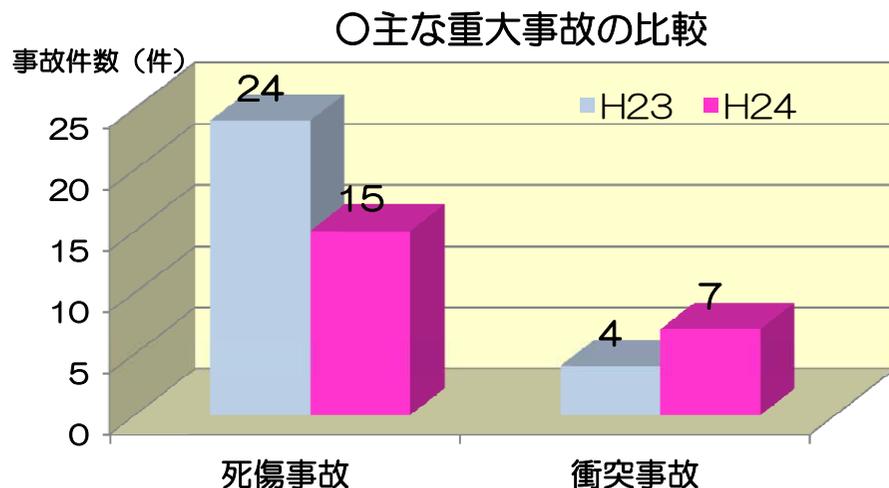
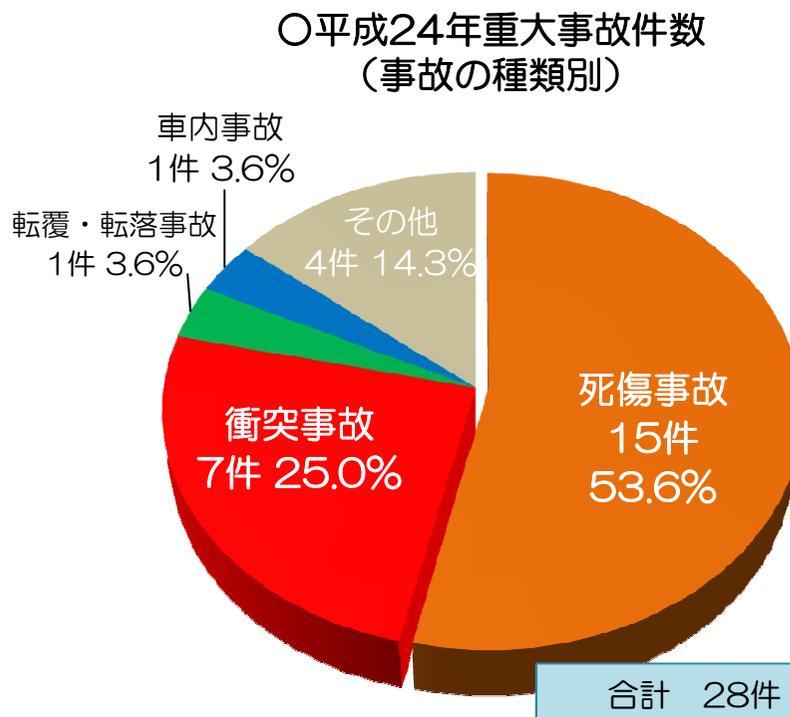
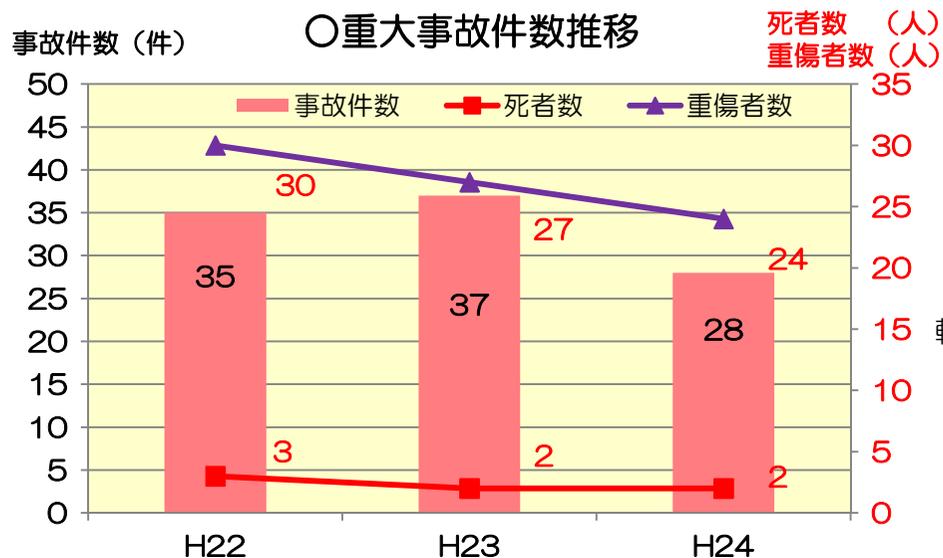
# (バス) 重大事故発生状況



出典：自動車事故報告書

- ・平成24年の事故件数は、前年に比べ23件（対前年比約35%）増加。
- ・バスでは、車内事故の占める割合が大きく、前年に比べ26件（対前年比約54%）増加し、報告の約84%を占める。

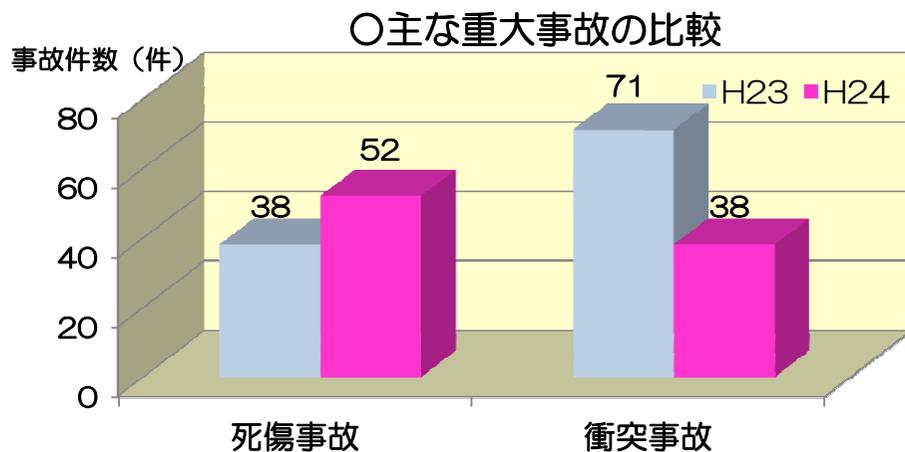
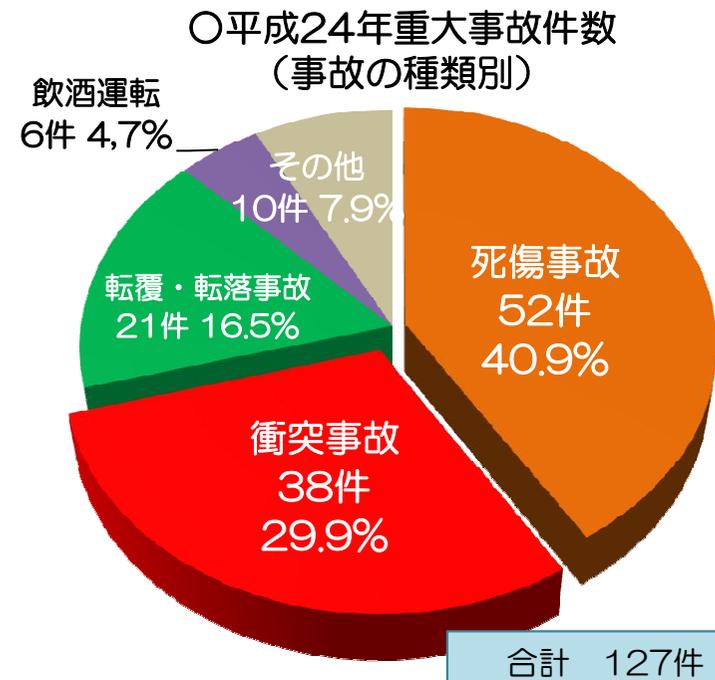
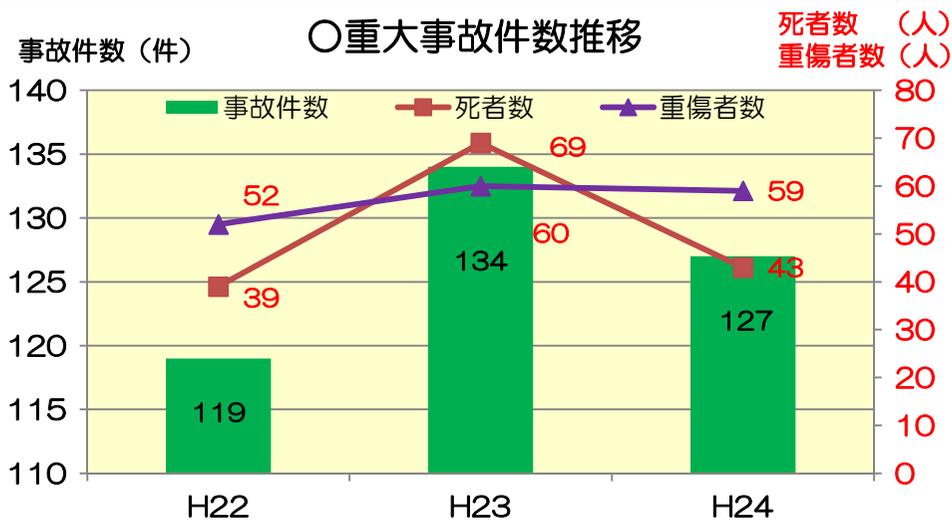
# (ハイ・タク) 重大事故発生状況



出典：自動車事故報告書

- ・平成24年の事故件数は、前年に比べ9件（対前年比約24%）減少。
- ・ハイ・タクでは、死傷事故が約53%を占め大きいが、前年に比べ9件（対前年比約38%）減少。

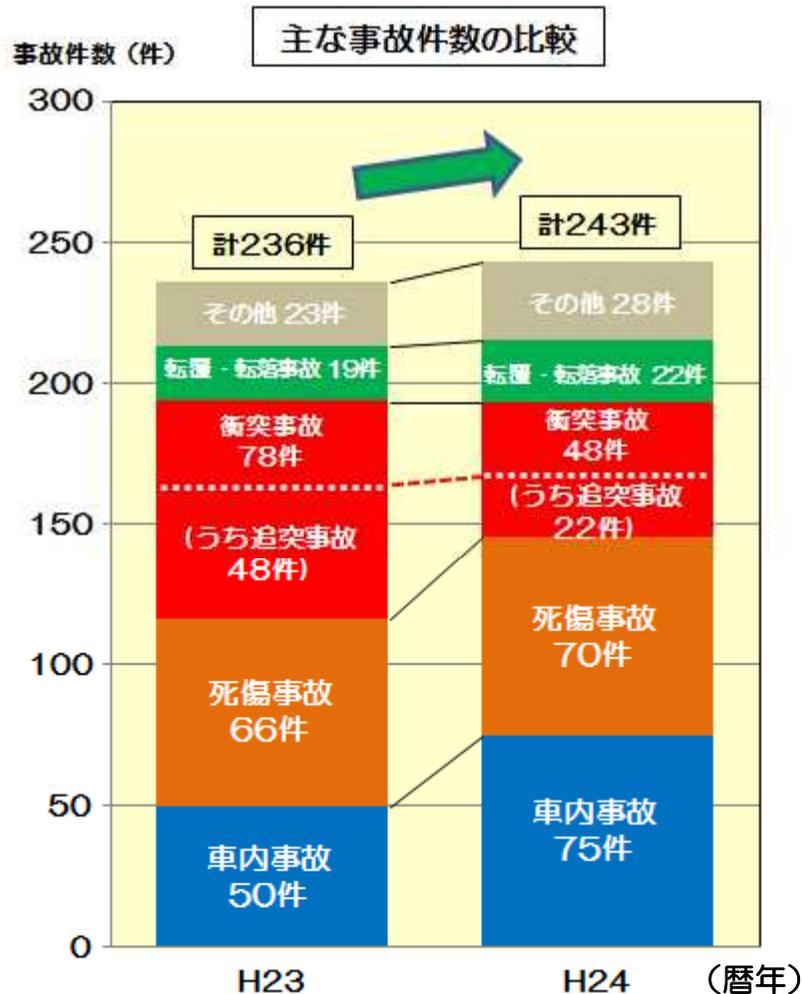
# (トラック) 重大事故発生状況



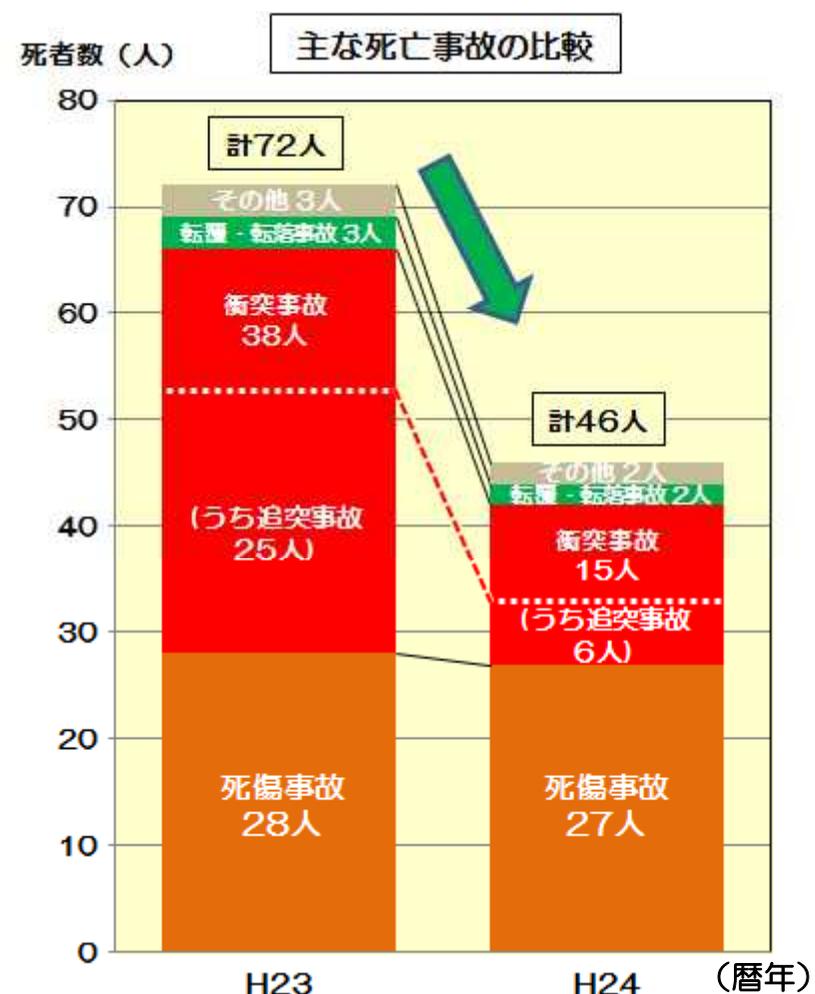
出典：自動車事故報告書

- ・平成24年の事故件数は、前年に比べ7件（対前年比約5%）減少。
- ・平成23年は衝突事故が非常に多かったが、平成24年は33件（対前年比約46%）減少。
- ・死傷事故は14件（対前年比約36%）増加。

# (全業態) 重大事故の種類別発生状況



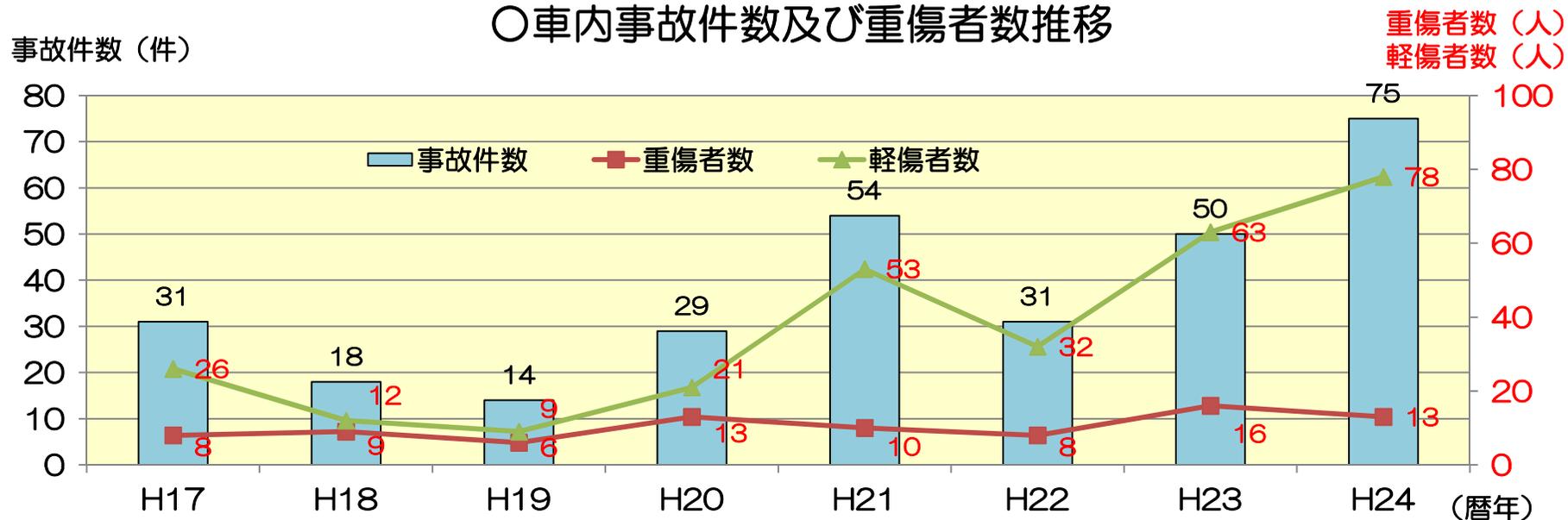
車内事故、死傷事故及び衝突事故で  
全体の約80%を占める。  
衝突事故が大幅に減少



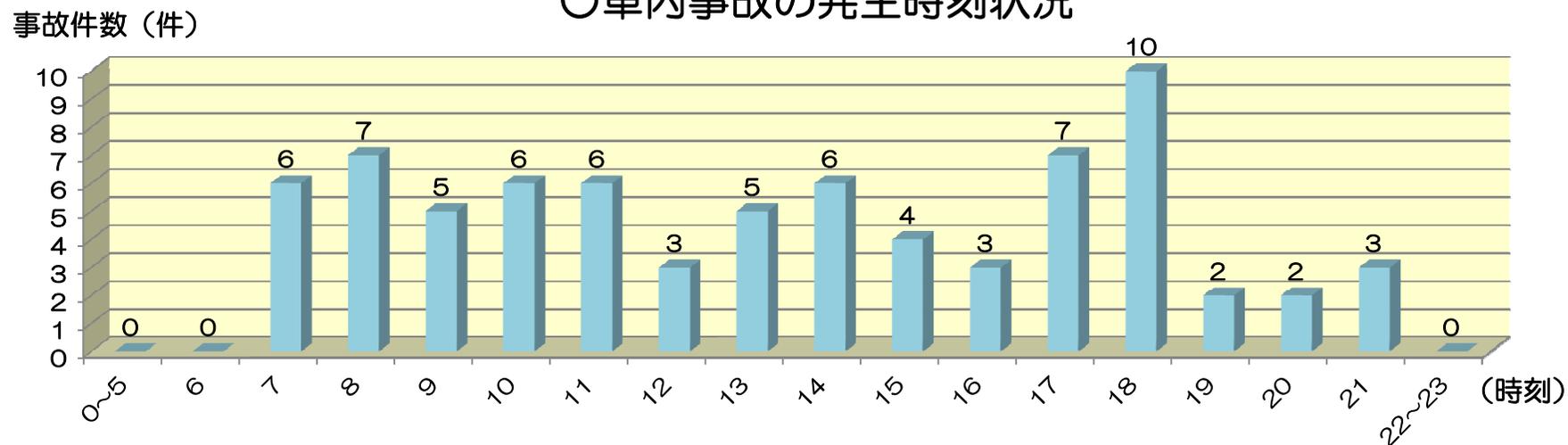
死傷事故、衝突事故が全体の90%  
以上を占める。

# 車内事故の発生状況

## ○車内事故件数及び重傷者数推移

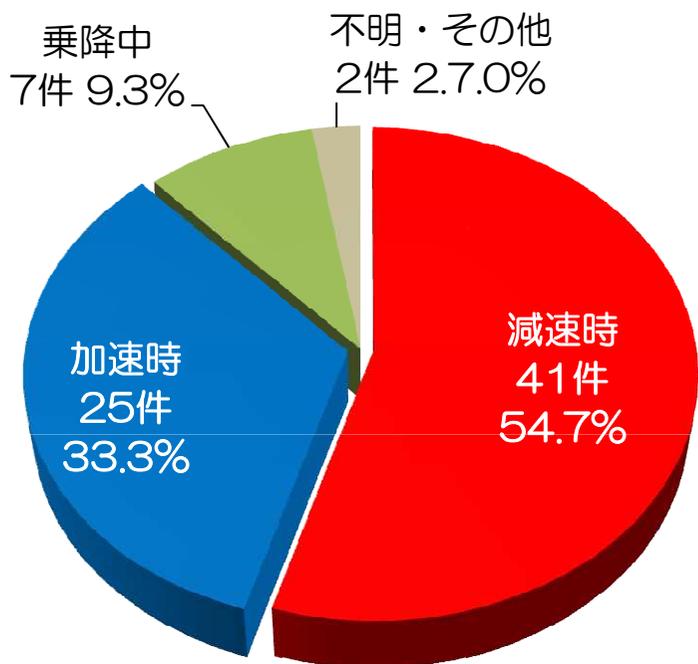


## ○車内事故の発生時刻状況



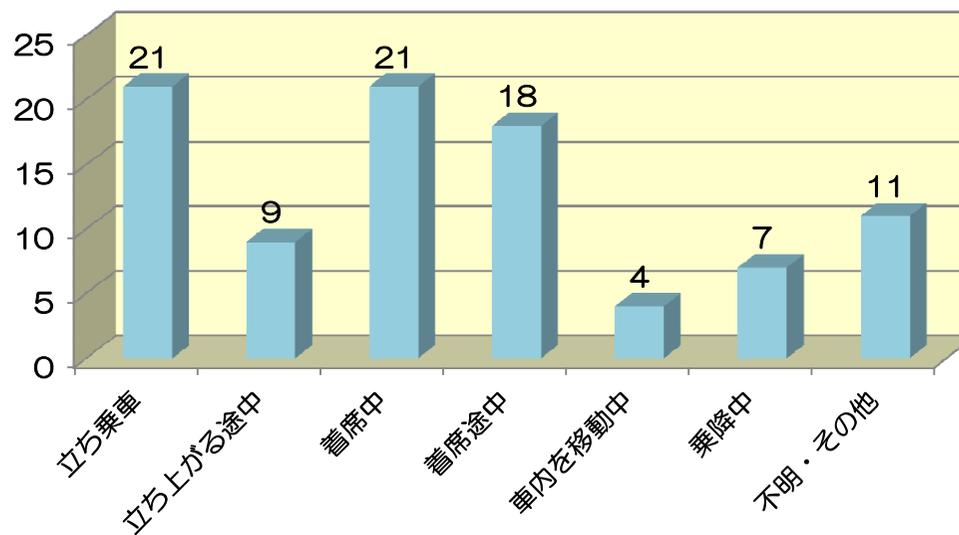
# 車内事故の発生状況

## ○事故発生時の車両の動き



## ○事故発生時の乗客の乗車状態

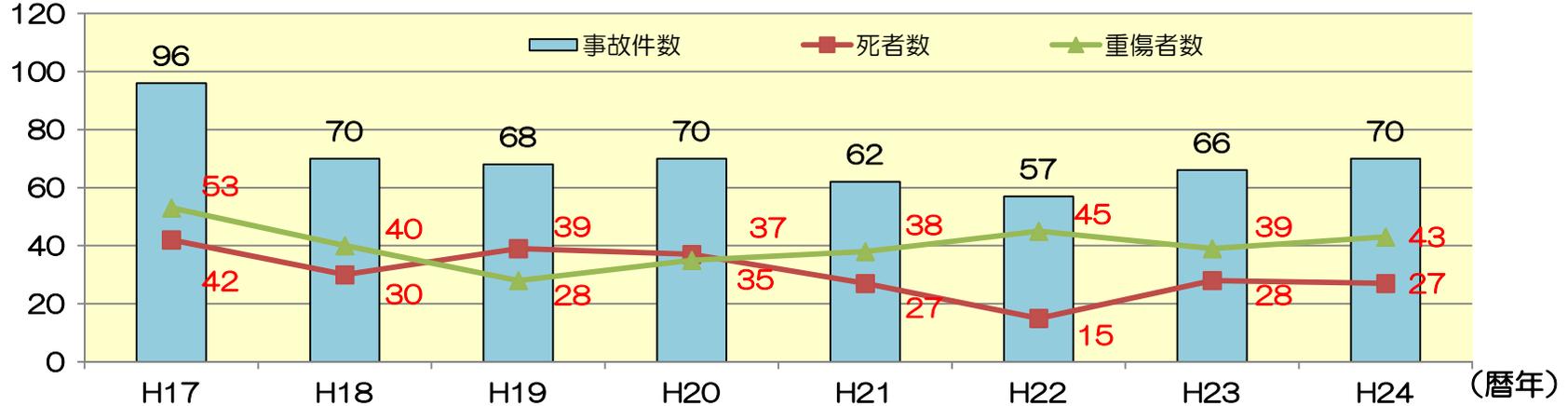
負傷者数 (人)



# 死傷事故の発生状況

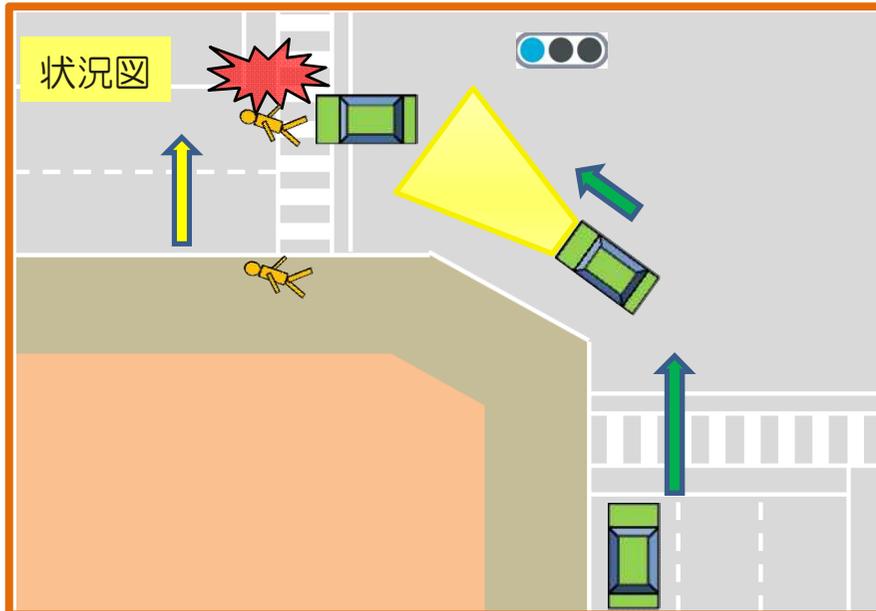
事故件数（件）  
死者・重傷者数（人）

○死傷事故件数及び死者・重傷者数推移



出典：自動車事故報告書

## 具体事案



発生日時：4月上旬 午後8時30分頃

発生場所：一般国道

業態：タクシー

**被害状況：重傷者 1名（歩行者）**

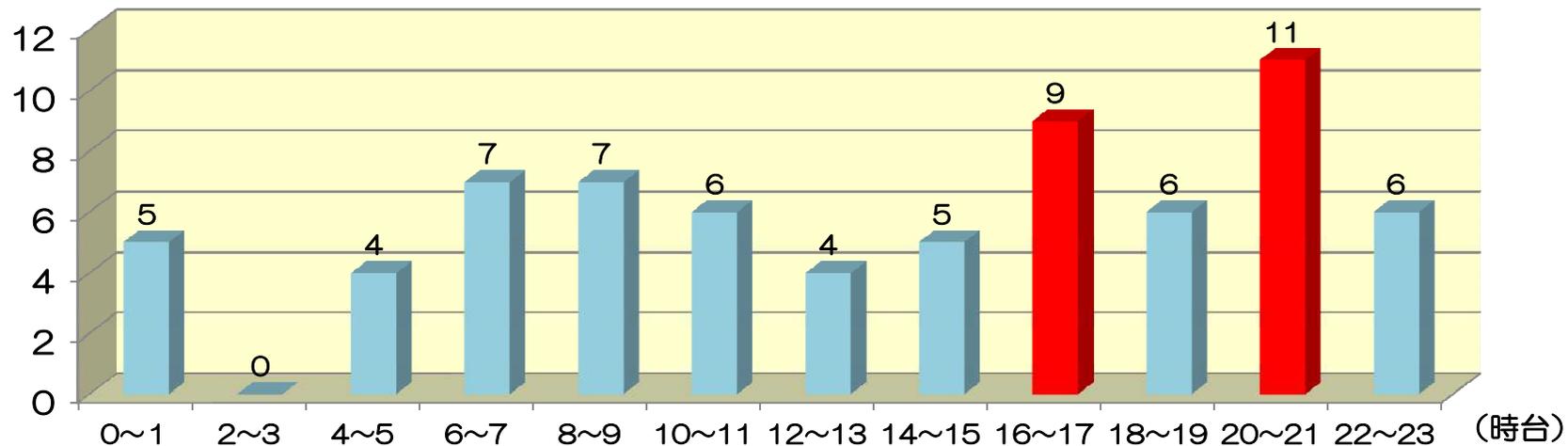
### 概要

国道の信号機のある交差点において、タクシーが赤信号で停止。青信号になり出発、左折したところ、タクシーから見て左から右方向へ向かっていた歩行者を見落とし撥ねた。

# 死傷事故の発生状況

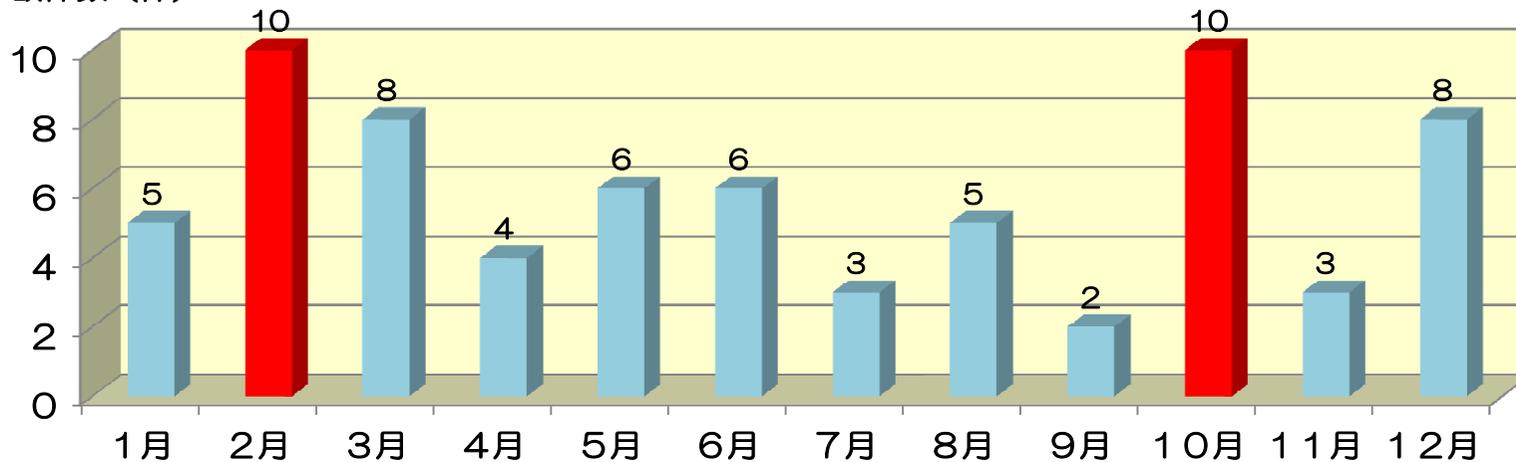
## ○発生時間帯別事故件数

事故件数 (件)

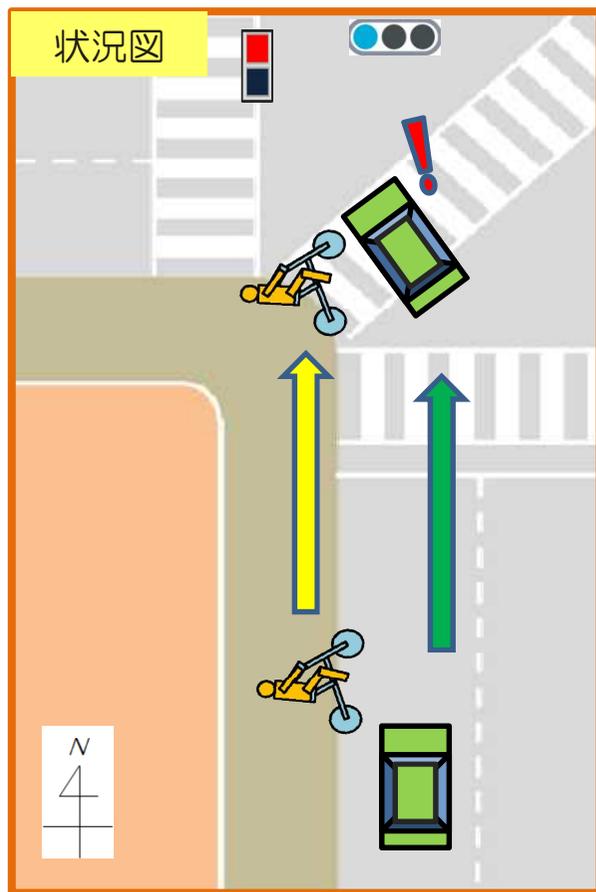


## ○発生月別事故件数

事故件数 (件)



# 死傷事故（ヒヤリハット事例）



最近、交差点で「歩車分離信号」設置例が増えてきた。大型トラックなどの左折時の巻き込み事故防止に効果あるとされる。ところが、同じ進行方向の車両の信号が青となったのにつられて一歩踏み出す歩行者がいるため、タクシーが信号待ちの先頭の場合、十分注意が必要

## 「歩車分離信号」自転車はどっち？

は警笛を鳴らした。自転車は後戻りしたので、タクシーは左折していった。この場合、車両の信号に自転車は歩道から横断歩道を乗って渡ろうとしたのでタクシーが警笛を鳴らしたのは無理もない。そこで、歩車分離信号の管理当局に確認してみた。「自転車から降りて押して上は課題といえど、

となりそう。自転車の場合、もつと危険だ。17日午後1時40分ごろ、名古屋市中区の興産業貿易館前の外通りと本通りの交差点で、北向きの車両用信号が青になった。歩行者用信号は赤だが、自転車の中年女性が北への直進を開始。西へ左折しようとしたタクシー

興産業貿易館前の歩車分離信号交差点



東京交通新聞 中部圏版  
(平成23年11月21日)

## 参考

○自転車は横断歩道を進行して道路を横断する場合、歩行者用信号機に「歩行者・自転車用」の標示がある場合は、歩行者用信号機に従わなければならない。

根拠規定：道路交通法第7条等

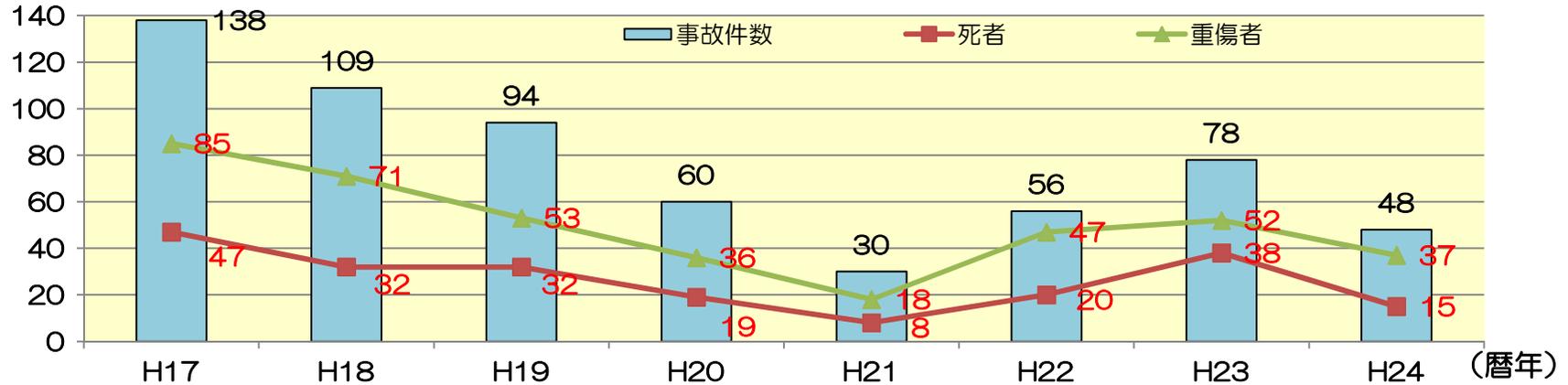
○自転車は、自転車横断帯がある場所の付近においては、その自転車横断帯によって道路を横断しなければならない。

根拠規定：道路交通法第25条等

# 衝突事故の発生状況

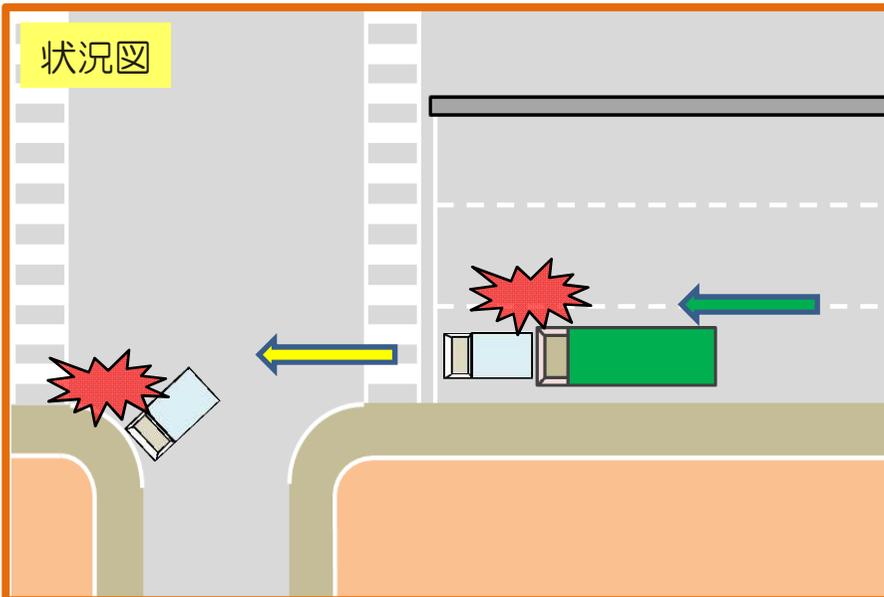
事故件数（件）  
死者・重傷者数（人）

○衝突事故件数及び死者・重傷者数推移



出典：自動車事故報告書

## 具体事案



発生日時：5月上旬 午前4時頃

発生場所：一般国道

業態：トラック

被害状況：死者1名（軽トラック運転者）

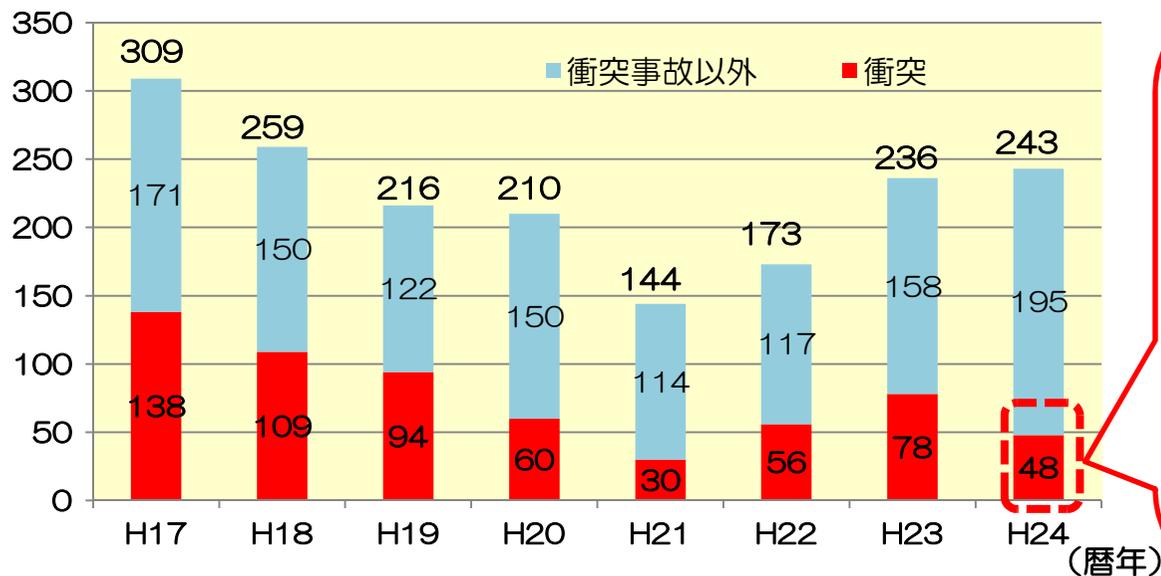
### 概要

一般国道、信号のある交差点において、大型トラックが赤信号で停止中の軽トラックに追突した。  
このはずみで、軽トラックが押し出され、交差点向こう側のガードレールに衝突した。

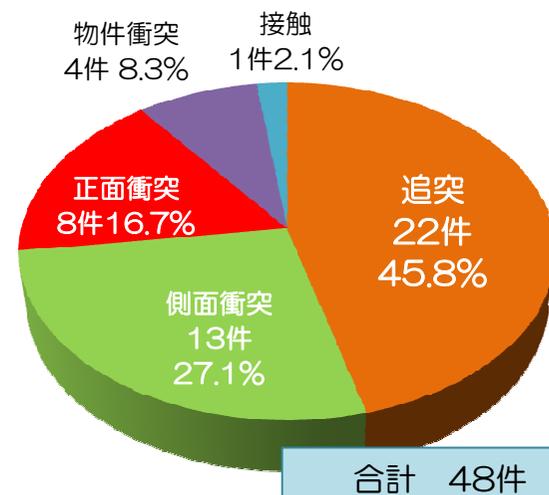
# 衝突事故の発生状況

事故件数（件）

## ○衝突事故・衝突以外の事故件数推移



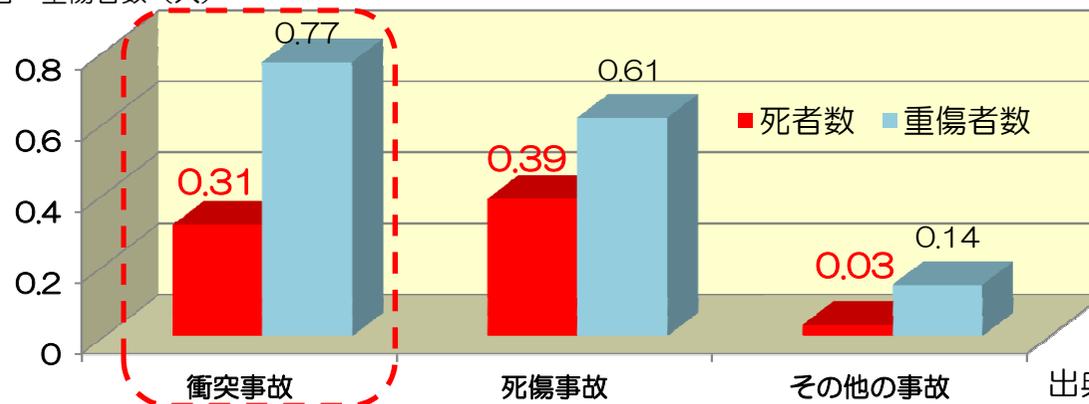
## ○平成24年衝突事故内訳



## ○事故1件当たりの被害程度比較（死者・重傷者）

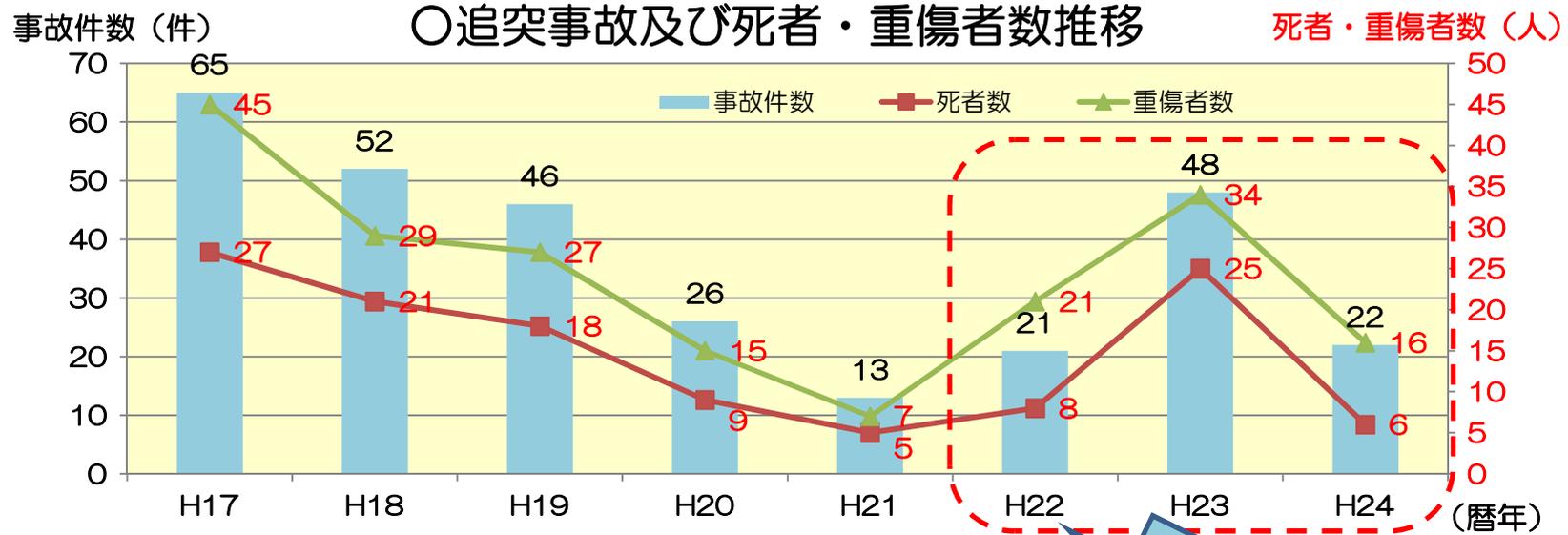
事故1件あたりの  
死者・重傷者数（人）※

※事故1件あたりの死者・重傷者数：  
各事故による死者・重傷者数/各事故報告件数

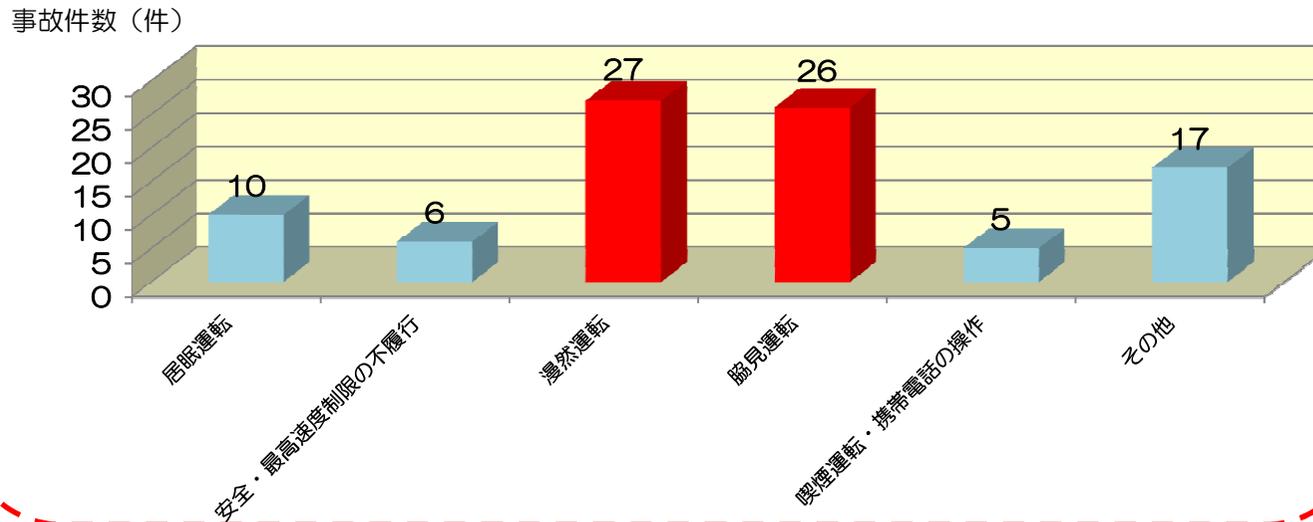


出典：自動車事故報告書

# 追突事故の発生状況



○追突事故の主な発生原因 (平成22~24年)

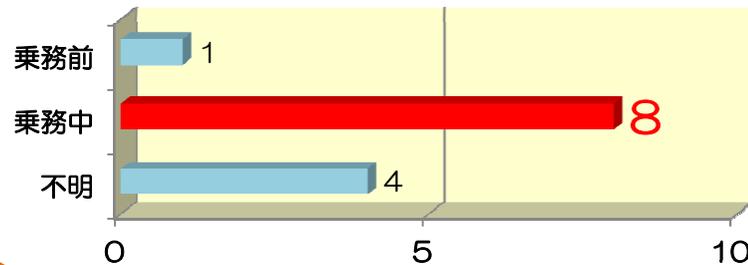


出典：自動車事故報告書

# 飲酒運転を伴う事故

	H22	H23	H24
全国件数	35	39	23
うち、中部管内事業者	3	4	6

## アルコール摂取の状況

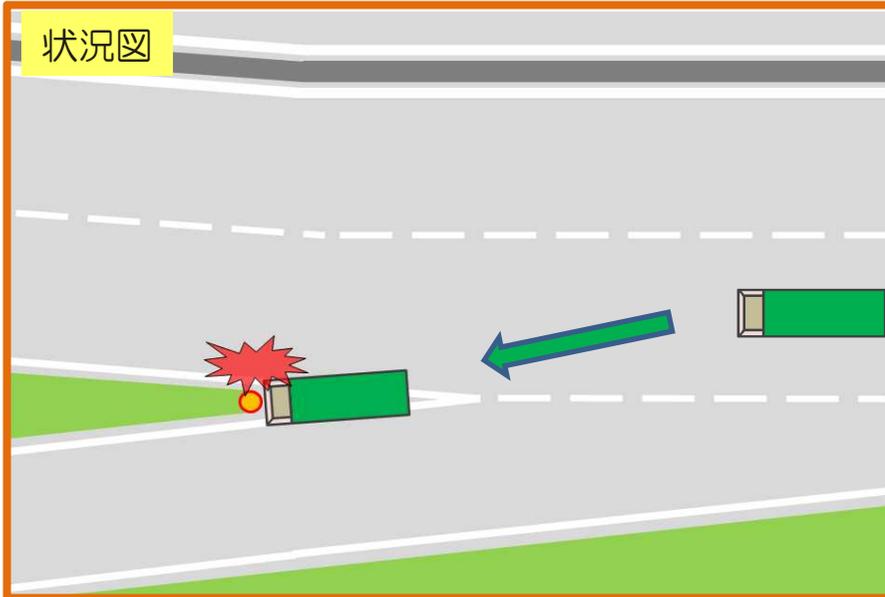


中部管内の飲酒状況を調べたところ、点呼後にコンビニ等でアルコール類を購入する、家から持参するなどし、**運行途中のパーキングエリア等でアルコールを摂取**するケースが多くみられた。

出典：自動車事故報告書

## 具体事案

### 状況図



発生日時：5月下旬 午前1時40分頃

発生場所：山陽自動車道

業態：トラック

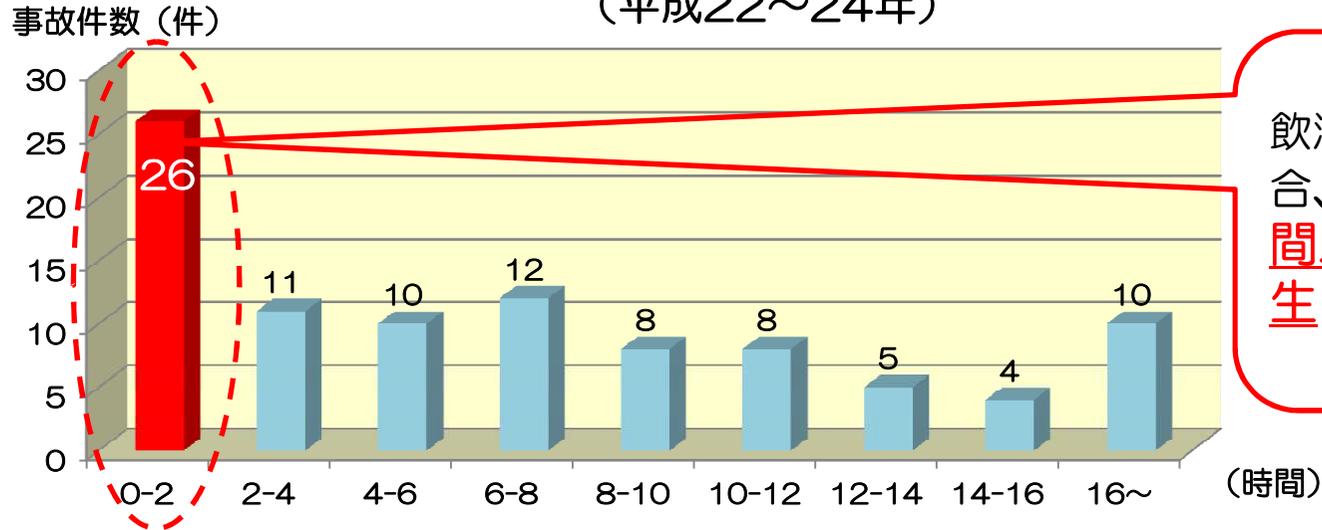
**特記事項：飲酒運転**

### 概要

山陽自動車道下り線において、オートクルーズ機能（時速80km設定）を利用し走行していたトラックが、本線出口の分岐点付近にある案内標識に衝突した。事故当時、トラック運転者は酒気帯びで、運行途中のPAにおいて、持参した焼酎を飲んだ模様。

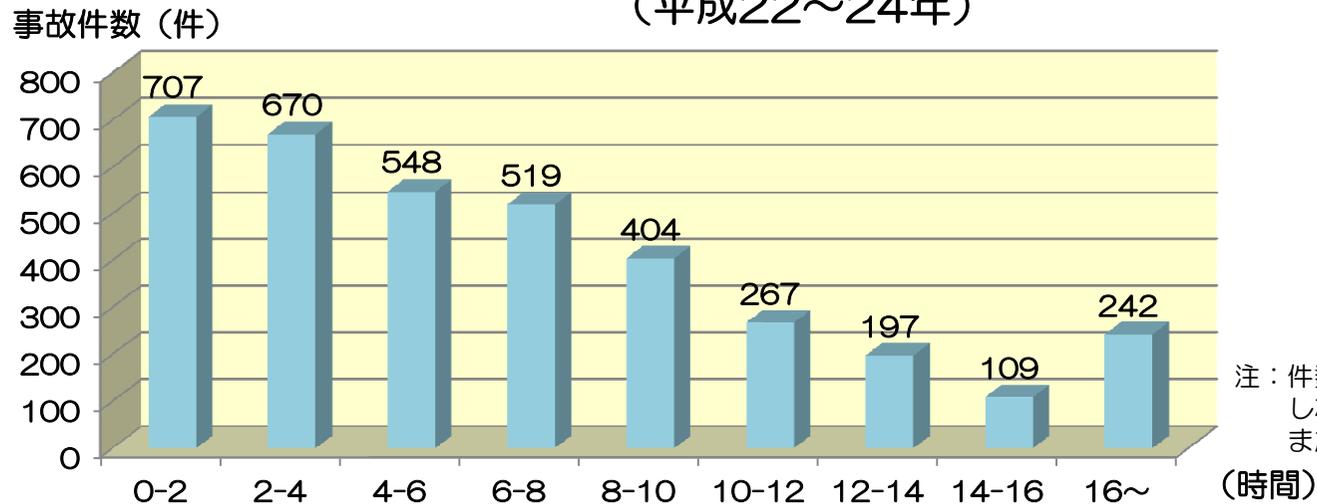
# 飲酒運転を伴う事故

○ 〈飲酒運転を伴う事故〉 事故発生までの乗務時間別事故件数  
(平成22~24年)



飲酒運転を伴う事故の場合、乗務開始から2時間以内に最も多く発生している。

○ 〈死傷・衝突事故〉 事故発生までの乗務時間別事故件数  
(平成22~24年)



注：件数については、乗務時間がはっきりしないものを除いてあります。  
また、全国の事故報告件数によります。

# 平成25年度 事故防止対策支援推進事業

## 事故防止対策支援推進事業

予算額：1,077百万円の内数（24年度予算額 811百万円の内数）

### 1. 先進安全自動車（ASV）の導入に対する支援

衝突被害軽減ブレーキ、ふらつき警報、横滑り防止装置等のASV装置の導入に対し支援  
〔補助率〕 1/2

#### ● 先行車両に近づく場合



ミリ波レーダーがつねに前方の状況を検知。



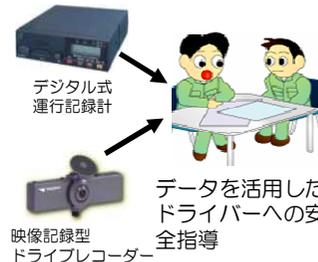
ドライバーが前方の車両に気づかない場合は、音によりドライバーにブレーキ操作を行うように促す。



追突する若しくは追突の可能性が高いとコンピュータが判断すると、ブレーキを作動。

### 2. デジタル式運行記録計等の導入に対する支援

デジタル式運行記録計、映像記録型ドライブレコーダーの導入に対し支援  
〔補助率〕 1/3



デジタル式  
運行記録計

映像記録型  
ドライブレコーダー

データを活用した  
ドライバーへの安  
全指導

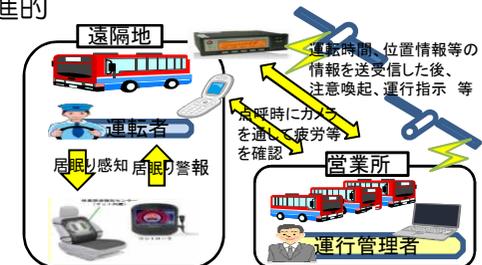
### 3. 社内安全教育の実施に対する支援

外部の専門家等の活用による事故防止のためのコンサルティングの実施に対し支援  
〔補助率〕 1/3



### 4. 過労運転防止のための先進的な取り組みに対する支援

過労運転防止等のため、営業所を離れた遠隔地でのリアルタイムの運行管理等を行う機器を導入する等運送事業者等の先進的な取り組みを支援  
〔補助率〕 1/2



地球温暖化対策及び大気汚染対策を推進する観点から環境対応車の導入を促進するとともに、安全対策を推進する観点からASV装置やデジタル式運行記録計等の導入等を支援。

# 平成24年における 事業用自動車の事故について

ご静聴ありがとうございました。